

多胎ネット代表者様

調査への協力をお願い

「多胎児家庭が受けた支援の実際とその思い」

日本多胎支援協会は、多胎児のご家庭がよりよい支援を受けられる社会を目指して、様々な活動を行っています。

このたび、私たち調査グループは、多胎児を子育て中のお母さまを対象に「実際に受けた地域の支援やその支援に対する思い」に関する調査を行いたいと考えています。そして、この調査結果をもとに、多胎児のご家庭にとってよりよい支援が様々な地域で提供されるよう、保健師・助産師・看護師が活用するガイドラインの作成を行います。

つきましては、多胎ネットの代表者に調査の趣旨をご理解いただき、会員の皆様への配信をお願いしたいと考えております。ご協力を心よりお願い申し上げます。

調査の対象者：0歳から小学2年生までの双子・三つ子・四つ子のお母さん

多胎ネットの代表者にご協力いただきたいこと

このメールに添付した「調査対象者向け依頼文」を会員の皆様に配信してさせていただきますようお願いいたします。依頼文には、アンケートの URL（または QR コード）が書かれていますので、Web アンケートに進みご回答くださいますようお願いください。

代表者ご自身が調査対象者の条件に見合う場合（多胎のお子さんが0歳から小学2年生まで）は、代表の方もよろしければ回答にご協力ください。

調査の回答者にご協力いただきたいこと

約70項目のWeb調査にご回答いただきます。

回答に要する時間は10～30分程度です。

調査にあたり以下のことに配慮します

- 調査は無記名で、調査への協力は任意です。
調査への回答の送信をもって、調査への協力にご承諾いただいたものとします。
なお、調査にご協力いただけない場合でも不利益をこうむることはありません。
- 回答いただいた内容から個人や所属団体が特定されることはありません。また、自由記載欄に回答いただいた内容は研究者で集計を行い、調査結果の公表の際に個人や所属団体が特定されないように配慮します。
- 調査で得られたデータは厳重に保管し、データが漏れないようにします。また、調査の分析後にデータを保存している媒体はすみやかに粉碎・破棄します。
- このデータは本来の目的以外で使用することはありません。

調査について疑問点などがございましたら、お手数ですが研究代表者にご連絡ください。

研究代表者連絡先

平石皆子(日本多胎支援協会理事, 山形県立保健医療大学)

メールアドレス：mhiraishi@yachts.ac.jp